

2013年9月25日

横浜ゴム、米国トラック・バス用タイヤ工場の起工式を開催

横浜ゴム（株）は、9月23日、米国ミシシッピ州ウエストポイントでトラック・バス用タイヤ工場の起工式を開催した。新工場は2015年10月からの操業を予定している。起工式にはフィル・ブライアント知事並びに州政府関係者、野地彦旬社長はじめ横浜ゴム関係者など350名以上が出席した。

挨拶に立った山本忠治ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・ミシシッピ（YTMM）社長は「本日は横浜ゴム、ミシシッピ州、ウエストポイントにとって大変素晴らしい日です。新タイヤ工場建設に向けて前進できたことは、ブライアント知事、知事スタッフ、またすべてのミシシッピの人々の多大なご努力、ご支援があったからこそと深く感謝申し上げます。我々がミシシッピでの工場建設を選択したのは正しい判断でした」と述べた。

横浜ゴムは初期設備投資額として3億米ドル、また第1期では約500名の雇用を計画しているが、将来的にそれぞれ4倍まで拡大する可能性がある。500エーカーを越える土地に生産、倉庫、事務所などを備えた工場を建設し、年間100万本以上のタイヤを生産する計画。

ブライアント州知事は「本日は、横浜ゴムが米国において全くの白紙から初の工場建設をスタートさせる記念すべき日です。わずか5カ月前、横浜ゴムはウエストポイントでの工場建設計画を発表し、私は横浜ゴムの皆さん、州及び地域の関係者が迅速にプロジェクトを軌道に乗せ



前列右から5人目山本忠治YTMM社長、6人目野地彦旬横浜ゴム社長、7人目フィル・ブライアントミシシッピ州知事

た努力に対し感謝しました。私は近い将来再びこの地を訪れ、新工場の開所式を祝うと共にミシシッピがビジネスに最適な場所であることを世界に証明したいと思います」と述べた。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：田中
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570